

I、国内外の動き

★ 大隅氏ノーベル賞（生理学・医学賞）

ー細胞の自食作用発見ー

スウェーデンのカロリンスカ研究所は10月3日、2016年のノーベル生理学・医学賞を、細胞が自らたんぱく質などを分解してリサイクル（再利用）する「細胞自食作用（オートファジー）」の仕組みを見つけた東京工業大学の大隅良典名誉教授（71）に授与すると発表した。

酵母から人間まで共通する細胞内の根源的な生命現象を遺伝子レベルで明らかにし、がんや神経疾患の治療研究に道を開いたことが評価された。

★ 米露関係の悪化鮮明

ーシリア停戦合意破綻ー

米務省のカービー報道官は3日、シリア停戦に向けたロシアとの協議を停止すると発表し、米露の主導で9月に始まった停戦の枠組みが崩壊した。

これに先立ち、ロシアは3日、米国と結んでいた核兵器解体に伴うプルトニウムの処理に関する協定の履行を一時停止すると発表しており、米露の関係悪化が鮮明となっている。

★ 美浜原発3号機「合格」決定

関西電力美浜原子力発電所3号機（福井県）の安全審査で、原子力規制委員会は5日、合格証に当たる「審査書」を正式に決定した。

40年を超える運転を目指す古い原発では関電高浜原発1、2号機（同）に次いで3基目となる。

★ 阿蘇山爆発的噴火

ー噴煙1万m超入山を規制ー

8日午前1時46分頃、熊本県・阿蘇山の中岳（標高1506m）の第1火口で爆発的噴火が発生した。

気象庁は5段階に分かれている噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から3（入山規制）に引き上げ、火口から約2kmの範囲で大きな噴石や火砕流への警戒を呼び掛けている。

★ PKO5原則維持確認

ー稲田氏南スーダン視察ー

稲田防衛相は8日、陸上自衛隊の施設部隊が国連平和維持活動（PKO）に従事している南スーダンの首都ジュバを視察し、現地の治安が落ち着き、PKO参加5原則が維持されていることを確認した。

政府は今回の視察などを踏まえ、11月に派遣する部隊に安全保障関連法で可能になった「駆けつけ警護」と「宿営地の共同防護」の新任務を付与するかどうか判断する方針だ。

★ 国連総長にグテレス氏

国連安全保障理事会が今年末で任期が切れる藩基文事務総長の後任を選ぶ会合を開き、ポルトガル元首相で前国連難民高等弁務官のアントニオ・グテレス氏を選出（6日）。国連総会が承認し、正式に任命（13日）。

★ プミボン国王死去（タイ）

ータイ在位70年政治危機を仲裁ー

タイ王室庁は13日、プミボン・アドゥンヤデート国王（ Rama 9世）が死去したと発表した。

88歳だった。1946年6月に即位し、在位期間は70年と存命する世界の君主の中で最長だった。

★ 新潟知事に原発慎重派

ー米山氏与党系候補破るー

新潟県知事選は16日、投開票され、共産、自由、社民3党が推薦する新人で内科医師の米山隆一氏（49）が、自民、公明両党から推薦を受けた前長岡市長の森民夫（67）ら無所属の新人3人を破って初当選した。

選挙戦では、東京電力柏崎刈羽原子力発電所（柏崎市、刈羽村）の再稼働問題が争点となった。

再稼働に慎重な米山氏が当選したことで、国のエネルギー政策にも影響を与えるのは確実だ。

★ 北ミサイル失敗

ー「ムスダン」か発射直後爆発ー

韓国軍合同参謀本部は16日、北朝鮮が15日午後0時33分頃、北朝鮮北西部・平安北道亀城市の飛行場付近から、中距離弾道ミサイル「ムスダン」（射程約2500～4000キロメートル）と推定されるミサイル1発を発射したが、直後に失敗したと発表した。

聯合ニュースによると、発射直後に空中で爆発した。

★ 「天皇の公務の負担軽減等に関する有識者会議」の初会合

天皇陛下が生前退位の意向を示唆されたことを踏まえて設置された「天皇の公務の負担軽減等に関する有識者会議」が初会合（17日）。

★ 鳥取震度6弱

—M6.6 16人けが—

21日午後2時7分頃、鳥取県中部を震源とする地震があり、同県倉吉市の湯梨浜町、北栄町で震度6弱を観測した。

気象庁によると、震源の深さは11^{km}、地震の規模を示すマグニチュード（M）は6.6と推定される。

関東から九州の広い範囲で揺れを観測し、鳥取県ではその後も、21日午後10時までに震度1～4の地震が計91回に上った。

★ 衆院補選自民2勝

7月の参院選後初の国政選挙となる衆院東京10区、福岡6区の補欠選挙は23日、投開票された。

東京10区は自民党前議員の若狭勝氏（59）（公明党推薦）が民進党新人の鈴木庸介氏（40）ら2人を破り、2回目の当選を果たした。

福岡6区は無所属新人の鳩山二郎氏（37）が、民進党新人の新井富美子氏（49）ら3人を破り、初当選を決めた。

自民党は23日夜、鳩山氏を追加公認した。

★ 「総裁任期3期9年」了承

自民党の党・政治制度改革実行本部は、総裁任期について、「現行の連続2期6年を連続3期9年までに改正する」との見直し案を了承。来年3月の党大会で正式決定の見通し（26日）。

★ 南シナ海「法で解決」

—日比首脳会談で確認—

安倍首相は26日、来日中のフィリピンのドゥテルテ大統領と首相官邸で会談し、フィリピンが中国と領有権を争う南シナ海の問題を巡り、法の支配や平和的な解決の重要性を確認した。

海洋安全保障分野で日比両国がさらなる関係強化を図ることも合意した。

★ 三笠宮さまご逝去

—昭和天皇の末弟—

三笠宮崇仁親王殿下は、27日午前8時34分、心不全のため、東京都中央区の聖路

加国際病院で逝去された。

100歳だった。昭和天皇の末の弟宮で、天皇陛下の叔父ににあたり、明治以降の皇族では最高齢だった。

★ 「小池政治塾」旗揚げ

東京都の小池百合子知事が主宰する政治塾「希望の塾」の開講式が東京都内で開かれ、2900人超が入塾（30日）。

★ イタリアM6.6建物倒壊

—住民多数既に避難—

イタリア中部ノルチャ近郊で30日午前7時40分（日本時間同日午後3時40分）頃、マグニチュード（M）6.6の地震が発生した。

米地質調査所（USGS）によると、イタリアでは1980年に南部で起きたM6.9の地震以降、最大。

★ 朴大統領友人を聴取

—政権機能不全に—

韓国の朴槿恵大統領（64）の友人女性が国政に介入した疑惑をめぐり、検察の特別捜査本部は31日、当事者の会社経営者崔順実氏（60）の事情聴取を始めた。

崔氏は朴氏に国政の助言を与える一方で、大統領との特別な関係を利用して様々な不正を行った疑いがある。

韓国国内では私人の国政介入を許した大統領への批判が噴出しており、朴政権は機能不全に陥っている。

★ 「世界津波の日」教訓胸に

昨年12月の国連総会で制定された「世界津波の日」を初めて迎えた11月5日、各地で津波を想定した避難訓練が行われた。

内閣府によると、5日前後に訓練を行う市町村や民間企業などは261団体。

南海トラフ巨大地震で甚大な被害が想定されている太平洋沿岸でも多くの訓練が実施された。

★ 博多陥没インフラ破壊

8日午後5時15分頃、博多市博多区博多駅前2の市道（通称・はかた駅前通り）で大規模な陥没が発生した。

穴は深さ最大約15メートル、幅約27メートル、長さ約30メートルにまで拡大。

市は同日午後、穴を埋め戻す作業を開始したが、道路の復旧時期は見通しが立っていない。

現場では市営地下鉄七隈線の延伸工事が行われており、市交通局はトンネル上部にある岩盤に亀裂が入るなどして大量の地下水が流入したことが陥没の原因とみている。

★ パリ協定承認、批准へ

2020年以降の地球温暖化対策の国際的枠組み「パリ協定」の承認案が、8日の衆院本会議で全会一致で可決された。

政府は同日午後、批准を閣議決定し、国内手続きは完了した。

国連に受諾書を提出し、受理されれば正式に批准となる。

★ 米大統領トランプ氏

ー既存政治批判し逆転ー

米大統領選は8日、全米各地で投開票が行われ、実業家で公職経験ゼロの異色の共和党候補ドナルド・トランプ氏(70)が、民主党のヒラリー・クリントン前国務長官(69)を破り、当選した。

来年1月20日に第45代大統領に就任する。

選挙で選ばれる公職か軍幹部のいずれの経験もない「アウトサイダー」が大統領選に勝利するのは米国史上初めて。

トランプ氏は「米国第一」の立場から外交、内政を抜本的に見直すとしているが、公約には現実を度外視したものも多く、外交、経済が世界的に混乱しかねないとの懸念が広がっている。

★ TPP承認案衆院通過

ー米議会は採決困難かー

環太平洋経済連携協定(TPP)承認案・関連法案は10日の衆院本会議で、与党と日本維新の会などの賛成多数で可決、参院に送付された。

今国会で承認、成立する見通したが、TPP離脱を主張するドナルド・トランプ氏が次期米大統領に決まったことで、発効は困難な情勢となっている。

★ 駆けつけ警護閣議決定

ー南スーダンPKO18日に付与ー

政府は15日午前の閣議で、南スーダンでの国連平和維持活動(PKO)に派遣する陸上自衛隊部隊に、3月施行の安全保障関連法で可能となった新任務「駆けつけ警護」を付与することを決定し、「宿営地の共同防護」の付与を確認した。

同法に基づく新任務が付与される初めてのケースとなる。

★ 首相「信頼できる指導者」

ー トランプ氏と初会談ー

安倍首相は 17 日夕（日本時間 18 日朝）、米ニューヨークでドナルド・トランプ次期大統領と会談し、新たな日米関係の構築に向けて動き出した。

首相はトランプ氏を「信頼できる指導者」と評価し、トランプ氏も「素晴らしい友人関係を始められた」との所感を示した。

首相は、トランプ氏と早期に再会談することで一致したことも明らかにした。

日本政府は、トランプ氏の大統領就任後の来年 2 月にも日米首脳会談を行う方向で調整する。

★ COP22 温暖化対策行動宣言

国連気候変動枠組み条約第 22 回締約国会議（COP22）が 19 日未明（現地時間）、閉幕した。

会議では、2020 年以降の地球温暖化対策について定めた「パリ協定」を拒否する考えを示してきた米国のトランプ次期大統領を念頭に、「温暖化対策はすべての国の緊急の責務だ」などとする「マラケシュ行動宣言」を参加国が共同で発表。

世界が一致して対策に取り組む姿勢を示した。

★ APEC「保護主義に対抗」宣言

環太平洋の 21 か国・地域が参加してペルーで開かれたアジア太平洋経済協力会議（APEC）首脳会議は 20 日（日本時間 21 日午前）、「あらゆる形態の保護主義に対抗する」と明記した首脳宣言を採択し、閉幕した。

★ M7.4 津波仙台 1.4 ㍎

ー福島各地 5 弱ー

22 日午前 5 時 59 分頃、福島県沖を震源とする地震があり、福島県いわき市、茨城県高萩市、栃木県太田原市などで震度 5 弱を観測した。気象庁によると、震源の深さは 25 ㍎、マグニチュード（M）は 7.4 と推定される。

同庁は午前 6 時 2 分に福島県、同 8 時 9 分に宮城県に津波警報を出した。

東北から関東の広い範囲に津波が到達し、仙台市の仙台港では、2011 年 3 月の東日本大震災以降、最大の 1.4 ㍎を観測した。

II、連盟の動き

○ 執行役員会

10 月 5 日（水）

女性部全国研修会について

国民運動について

雑誌「郷友」の編集構想

研究所関係、事務局関係、その他

11月 2日（水）

北方領土ビザなし交流について

ブロック研修の実施結果について

女性部全国研修会の実施結果

平成29年賀詞交歓会について

雑誌「郷友」の編集構想

研究所関係、事務局関係、その他

○ **安保フォーラム（10月26日）**

演題 「開戦・終戦の決断と食糧について」

講師 海野 洋氏（元農水省東北農政局長）